



「チョイス」  
～子ども医療福祉センター連携事業～

〔主催〕 国立諫早青少年自然の家  
〔期日〕 令和5年11月10日(金)10:00～16:00 日帰り  
〔会場〕 国立諫早青少年自然の家  
〔参加者〕 子ども医療福祉センターを利用している小・中学生 18名  
〔協力〕 長崎県立子ども医療福祉センター(医師、作業療法士、児童相談員、看護師) 8名  
〔担当職員〕 小野 栄策、中里 文彦、高山 雄也

1)趣旨

自然の家での様々な体験活動を通して、不登校、引きこもりなどの課題を抱える青少年に自然体験活動の楽しさや達成感を感じさせ、自己肯定感や自己有用感を高めます。また、他者との交流や自然の家での規則正しい生活を通して、基本的な生活習慣づくりのきっかけとします。

2)SDGsで目指す姿

|   |   |   |
|---|---|---|
|  <p>4 質の高い教育を<br/>みんなに</p> |  <p>16 平和と公正を<br/>すべての人に</p> | 目標4 質の高い教育をみんなに<br>自然体験活動を通して、リラクセーションを図り、今後の生活の質の向上を図る。<br>目標16 平和と公正をすべての人に<br>個人の意思決定を重んじ、様々な実態に応じて、学ぶ機会を提供する。 |
|---|---|---|

3)目標

- ①活動を楽しもう。
- ②好きな活動を選んで参加しよう。
- ③安全に気をつけて行動しよう。

4)プログラム

| 1日目   |
|---|
| 10:00 開講式   |
| 10:10 野外炊事(タラッキーピザづくり)【写真①】<br>(薪割り・火起こし体験【写真②】)                                |
| 12:30 昼食  |
| 13:30 休憩【写真③】   |
| 14:00 チョイス【写真④】<br>(スポーツ:卓球、バドミントン)<br>(クラフト:端材クラフト、ペンダントづくり)<br>(レクリエーション:カプラ) |
| 16:00 閉講式   |

## 5)事業展開

### ①野外炊事(タラッキーピザづくり)



ピザ窯を使って、ピザ作りを行った。生地作り、発酵、成形、トッピング、焼き上げをグループに分かれて取り組むことが出来た。

### ②野外炊事(薪割り・火起こし体験)



生地が発酵する時間を利用して、キンドリングクラッカーを使用した薪割りとファイヤースターターを使用した火起こしを行った。

### ③休憩



休憩時間に、たき火を囲んで焼き芋やマシュマロ焼きを食べたりした。会話がはずみ、盛り上がっていた。

### ④チョイス



子どもたちが選択した活動(スポーツは卓球とバドミントン)(クラフトは端材クラフトとペンダント)(レクリエーションはカプラ)を自由に行った。

## 6)評価

### ①アンケート結果(事業全体に対する満足度)

| 満足  | やや満足 | やや不満 | 不満 |
|-----|------|------|----|
| 94% | 6%   | 0%   | 0% |

### ②参加者の声

- ・木の匂いが好きなので、自然の家の空間で活動出来て、心がスッキリした。
- ・いろいろな挑戦できる活動が準備されていた。自分も「出来る」と思いました。
- ・自然の家のスタッフがとても優しく、一つ一つの活動がおもしろかった。
- ・季節的には秋がよく、たき火などの周りに座り、みんなと過ごす時間があり、とても良かった。

## 7)成果と課題

### ①成果

- ・最初に、野外炊事から入り、午後から全体レクリエーション、選択活動のプログラム調整がとても良く、午前中のピザ作りでしっかりと友達同士の交流が図れ、関係づくりに役立っていた。
- ・野外炊事の合間に、焼き芋、マシュマロ焼きなどを入れたことで、時間を持て余すことがなく活動に集中できた。選択活動の導入で全体レクリエーションを入れて、場の雰囲気よくなった。

### ②課題

- ・選択活動では、事前のアンケートを生かし、準備や活動時間配分などの計画をたてる必要がある。